

北九州市
子ども・子育て支援に関する市民アンケート
【中学・高校生用】

アンケート調査へのご協力のお願い

北九州市では、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、子育て支援のための施策を進めています。このアンケートは、平成27年度以降の本市の子育て支援等に関する計画策定の参考とするため実施するものです。

次のページに、「子ども・子育て支援法に基づく新しい制度の考え方とはどのようなものか」「このアンケートがどのように子育て支援施策に生かされるのか」などについて説明しています。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケート調査は、平成25年9月20日現在の住民基本台帳から、平成25年4月1日時点で、12歳から17歳の方を無作為に3,000人抽出し、その方の保護者の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、本市や国などの子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用するものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

本調査に関することや、ご不明な点についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

調査票のご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成25年10月31日までに投函くださいますようお願いいたします。

《お問い合わせ先》

北九州市 子ども家庭局 子ども家庭政策課

北九州市小倉北区内1番1号

電話 093-582-2550

FAX 093-582-0070

回答するに当たってお読みください

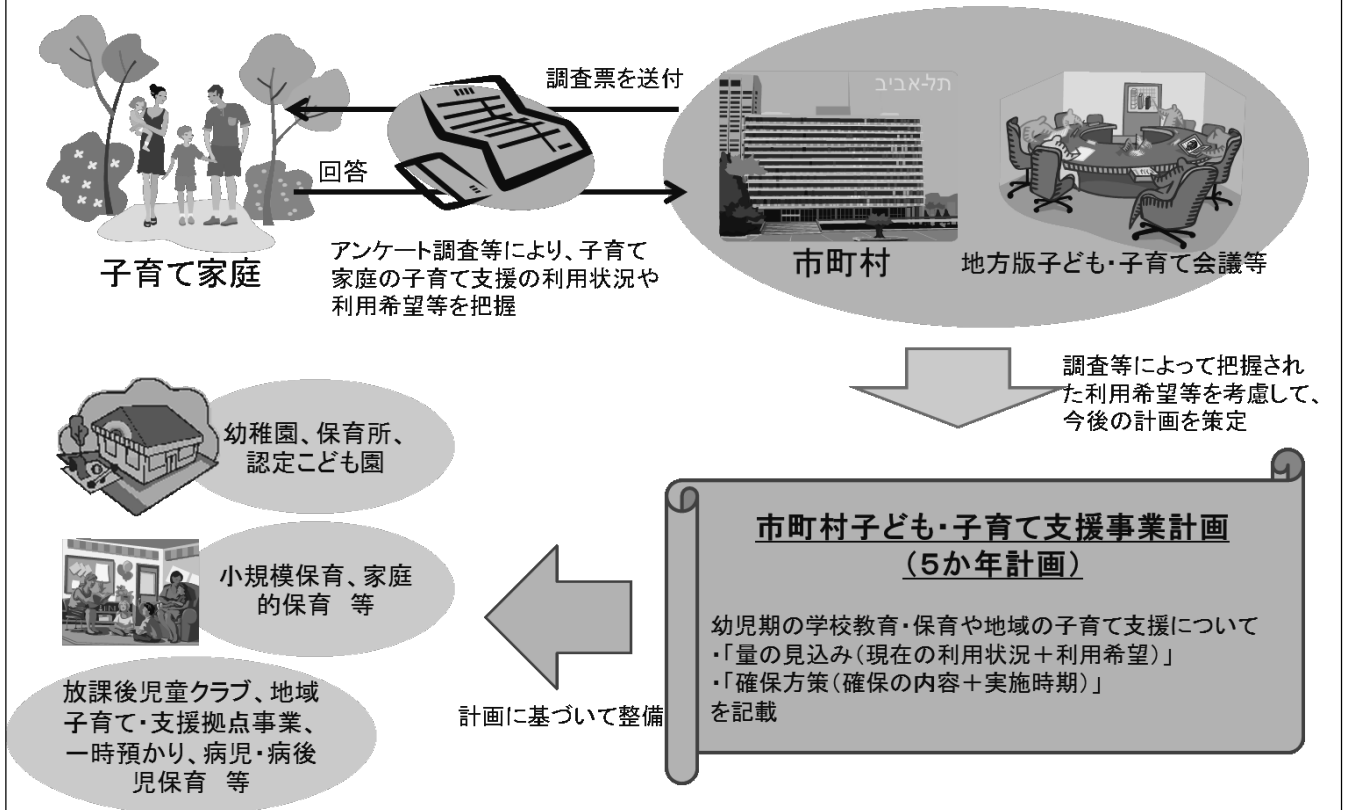
北九州市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとしています（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の施策を検討するため、市民の皆さんの家族の状況や子育ての実態、保護者の意識やニーズなどを把握するために行うものです。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教 育：学校における教育だけでなく家庭での教育を含めた広い意味で用いています

ご記入にあたってのお願い

- 1 アンケートには、あて名のお子さんの保護者の方がご記入下さい。
- 2 設問によってご回答いただく方が限られていたり、お選びいただく数が異なったりしますので、ことわり書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、平成25年10月31日までにご投函ください。

問9-1 問9で、「2. 必要なときに持たせている」または「3. いつも持たせている」に○をつけた方にうかがいます。その携帯電話は、どなたの名義ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 保護者名義 2. 子ども名義 3. その他 ()

問9-2 問9で、「2. 必要なときに持たせている」または「3. いつも持たせている」に○をつけた方にうかがいます。その携帯電話をどのような用途で持たせていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族との連絡用 2. 子どもが友だち等と連絡をとるため
3. 子どもの通学時等の安全確認のため 4. 子どもが情報収集するため
5. 子どもがほしがるから 6. その他 ()

問9-3 問9で、「2. 必要なときに持たせている」または「3. いつも持たせている」に○をつけた方にうかがいます。その携帯電話の使用について、家族でルールを決めていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 家族で話し合い、ルールを決めている。
2. 特にルールは決めていない。
3. その他 ()

問9-4 問9で、「2. 必要なときに持たせている」または「3. いつも持たせている」に○をつけた方にうかがいます。その携帯電話にフィルタリングサービス(有害サイトへの接続を遮断する機能)を付けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 付けている 2. 付けていない

問9-5 問9-4で、「2. 付けていない」に○をつけた方にうかがいます。フィルタリングサービスを付けていないのはなぜですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 必要性を感じないから
2. 必要性は感じるが、子どもの希望で付けていない
3. フィルタリングサービスのことを知らない
4. その他 ()

問10 宛名のお子さんは、ご家庭でパソコン(インターネットに接続したもの)を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 家族所有のパソコンを利用している 2. 子ども専用のパソコンを利用している
3. 家ではパソコンを利用していない 4. わからない

問11

宛名のお子さんは、一日に、パソコンや携帯電話を操作したり、テレビゲーム機等で遊んだり、また、テレビを見たりする時間は合計でどの程度ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 全くない | 2. 1時間未満 |
| 3. 1時間以上3時間未満 | 4. 3時間以上5時間未満 |
| 5. 5時間以上 | 6. わからない |

問12

宛名のお子さんの生活上、どのようなことが気になりますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 携帯電話やパソコン等から得る有害情報（風俗など） |
| 2. 携帯電話やパソコンなどによるインターネット上のブログやプロフなどの書き込み |
| 3. テレビゲーム機や携帯電話への依存 |
| 4. 酒類やたばこ等を入手しやすい環境 |
| 5. 脱法ハーブなど薬物を入手しやすい環境 |
| 6. カラオケボックスやゲームセンターの利用 |
| 7. コンビニエンスストア等の深夜営業施設 |
| 8. 青少年の問題行動に対する社会一般の無関心や黙認 |
| 9. 大人の規範意識やモラルの低下 |
| 10. その他（ ） |

問13

宛名のお子さんは、放課後（平日）および休日に、どこで過ごすことが多いですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【放課後（平日）】

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅 | 2. 友だちの家 |
| 3. 学校（部活動等） | 4. 学習塾や予備校等 |
| 5. 図書館、ユースステーション等公共施設 | 6. ゲームセンターやカラオケなどの遊戯施設 |
| 7. 公園や街中など屋外（友だち等と遊んでいる） | 8. 地域で取り組む各種活動等 |
| 9. わからない | 10. その他（ ） |

【休日】

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅 | 2. 友だちの家 |
| 3. 学校（部活動等） | 4. 学習塾や予備校等 |
| 5. 図書館、ユースステーション等公共施設 | 6. ゲームセンターやカラオケなどの遊戯施設 |
| 7. 公園や街中など屋外（友だち等と遊んでいる） | 8. 地域で取り組む各種活動等 |
| 9. わからない | 10. その他（ ） |

問14

宛名のお子さんは、放課後（平日）や休日に、勉強や習い事以外で主にどのような活動をしていますか。それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。また、「2. 部活動以外の自主的な活動」を選んだ方は、右の欄のあてはまるものすべてに○をつけてください。

【放課後（平日）】

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 学校での部活動 | 1. 野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動
2. 音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動
3. 自然観察、キャンプ等の野外活動
4. 清掃活動や高齢者介護等のボランティア活動
5. その他（ ） |
| 2. 部活動以外の自主的な活動 | |
| 3. 何もしていない | |
| 4. わからない | |

【休日】

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 学校での部活動 | 1. 野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動
2. 音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動
3. 自然観察、キャンプ等の野外活動
4. 清掃活動や高齢者介護等のボランティア活動
5. その他（ ） |
| 2. 部活動以外の自主的な活動 | |
| 3. 何もしていない | |
| 4. わからない | |

3. 学校生活についておうかがいします。

問15 宛名のお子さんから、過去1年間に学校内でのいじめや暴力行為等の話を聞いたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 聞いたことはない | 2. ときどきある |
| 3. よくある | 4. わからない |
| 5. その他 () | |

問16 宛名のお子さんが、過去1年間に学校でいじめや暴力行為等に巻き込まれたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 全くない | 2. 1～2度ある |
| 3. 何度もある | 4. わからない |
| 5. その他 () | |

問16-1 問16で、「2. 1～2度ある」または「3. 何度もある」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが、学校でいじめや暴力行為等に巻き込まれた時、誰に相談されましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 家族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 学校 | 4. 学校以外の行政機関 (※1) |
| 5. 民間機関 (※2) | 6. その他 () |
| 7. 相談していない | |

※1 相談できる学校以外の行政機関として、次の相談窓口があります。

【土・日曜日、祝日、年末年始を除く 8:30～17:00】

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| ・教育委員会指導第二課(Tel582-2367) | ・子ども総合センター(Tel881-4556) |
| ・北九州少年サポートセンター(Tel881-7830) | ・各区子ども・家庭相談コーナー |

【24時間対応】

- ・24時間子ども相談ホットライン (Tel881-4152)
- ・Eメール相談 (e-mail 《ho-soudan1@mail2.city.kitakyushu.jp》)

※2 民間相談機関として、次の窓口があります。

【月曜日 16:00～19:00】

- ・チャイルドライン北九州 (Tel964-8050)

【24時間対応】

- ・北九州いのちの電話 (Tel671-4343)

4. 子育てに関する悩みや不安についておうかがいします。

問17 子育てや子どもの教育等に関して、悩みや不安などを感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 非常に感じる | 2. やや感じる | 3. あまり感じない |
| 4. 全く感じない | 5. その他 () | |

問17-1 問17で、「1. 非常に感じる」または「2. やや感じる」に○をつけた方にうかがいます。具体的にどのようなことに、悩みや不安などを感じますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 子どもの学業（成績等）に関すること |
| 2. 卒業後の進路に関すること |
| 3. 将来の子どもの就職に関すること |
| 4. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 5. 異性との交際に関すること |
| 6. 不良行為や非行に関すること |
| 7. ひきこもり、不登校等に関すること |
| 8. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 9. 子どもと一緒に時間が取れないこと |
| 10. 学費の負担に関すること |
| 11. その他 () |

問18 子育てや子どもの教育などに関する悩みや不安などを誰に（どこに）相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー |
| 2. その他の親族（親、きょうだいなど） |
| 3. 友人、隣近所の人、地域の知人 |
| 4. 職場の人 |
| 5. 学校等の保護者の仲間 |
| 6. 学校の先生等 |
| 7. かかりつけ医、看護師 |
| 8. 子ども・家庭相談コーナー（区役所保健福祉課） |
| 9. 市民センター |
| 10. 少年サポートチーム（ウェルとばた内） |
| 11. 警察署や北九州少年サポートセンター（ウェルとばた内） |
| 12. 児童相談所（子ども総合センター） |
| 13. 24時間子ども相談ホットライン（子ども総合センター） |
| 14. 少年支援室（かなだ・わかその・くろさき・あいおい・あだち） |
| 15. 民間やNPOの相談窓口 |
| 16. その他 () |

問19

子育て（教育を含む）に関する情報を、通常どのように入手されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 親族や友人、知人など	2. 学校
3. 区役所や市の機関	4. 市民センター、図書館などの公共施設
5. 市政だよりなどの市の発行物	6. テレビ、ラジオ
7. 新聞	8. 携帯電話
9. スマートフォン	10. パソコン
11. タブレット	12. FacebookやmixiなどのSNS (ソーシャルネットワークサービス)
13. 本、雑誌	14. 無料で配布される地域の情報誌
15. その他 ()	16. わからない

問20

今後、行政が子育て（教育を含む）に関する情報を発信する手段（場所）として、より力を入れてほしいものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 学校	2. 区役所や市の機関
3. 市民センター、図書館などの公共施設	4. 市政だよりなどの市の発行物
5. テレビ、ラジオ	6. 新聞
7. 携帯電話	8. スマートフォン
9. パソコン	10. タブレット
11. FacebookやmixiなどのSNS (ソーシャルネットワークサービス)	12. 本、雑誌
13. 無料で配布される地域の情報誌	

5. 今後の北九州市の子育て支援についておうかがいします。

問21 今後、子育て支援の充実に向けて、より力を入れてほしい支援策は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 救急医療をはじめとする子どもの医療体制
2. 子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所
3. 子育てについて学習できる場所
4. いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設
5. 野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動
6. 音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動
7. 自然観察、キャンプ等の野外活動
8. 清掃活動や高齢者介護等のボランティア活動
9. 学校以外のスポーツや野外活動など、地域活動の機会
10. 有害環境対策（インターネットや携帯の有害サイト、薬物乱用など）
11. 安心して子育てと仕事を両立できる職場環境
12. 公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮
13. 子育てに関する公的な経済的支援
14. その他（）

問22 あなたは、子育てが地域の人に支えられていると感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらともいえない
4. どちらかと言えば感じていない
5. ほとんど感じていない

問22-1 問22でそう感じた理由をお書きください。

()

問23は宛名のお子さんとお話をして、お子さん本人の考えをご記入下さい。

問23 普段の生活や将来のことを考え、より力を入れてほしい支援策は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 普段の生活や学校生活での不安や悩みを気軽に相談できる場所
2. 異性や友人との付き合いでの不安や悩みを気軽に相談できる場所
3. 学業や進路、就業に関する不安や悩みを気軽に相談できる場所
4. いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設
5. 放課後や休みの日に、安心して遊べ、学び、体験ができる施設・場所
6. 野球やサッカー、テニス等のスポーツ活動
7. 音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動
8. 自然観察やキャンプ等の野外活動
9. 清掃活動や高齢者の介護等のボランティア活動
10. 学校でのクラブ活動
11. 遊びや学びを家族で楽しめる機会
12. 学校以外のスポーツや野外活動など、地域活動の機会
13. 乳幼児や高齢者などと触れ合う多世代間で交流する機会
14. 不登校や引きこもり、いじめに対する対策
15. 有害環境対策（インターネットや携帯電話の有害サイト、薬物乱用など）
16. 食育など健康づくりにかかわる情報の提供
17. 救急医療をはじめとする医療体制の整備
18. 男女や高齢者、障害者、外国人であることによる区別はなく、みんな仲良く暮らせる社会づくり
19. 安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備
20. イベントや講座、公共施設などにかかわる情報の提供
21. その他（）

6. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問24 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

宛名のお子さんの(1)は母親について、(2)は父親についてお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	→ 問24(2)へ
6. これまでに就労したことがない	

(1) -1 問24(1)で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。就労形態は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の勤務先で就労している場合は、週のうち最も就労時間が長いもの1つについてお答えください。

1. 自営業主	2. 会社などの役員	3. 自営業の手伝い、自宅での内職
4. 正社員	5. 派遣社員	6. 契約社員・嘱託 7. その他

(1) -2 問24(1)で「1~4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。どのような職種ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の勤務先で就労している場合は、週のうち最も就労時間が長いもの1つについてお答えください。

1. 事務の仕事（一般事務員など）	2. 販売の仕事（小売店主、店員など）
3. サービスの仕事（調理人、美容師、接客など）	4. 技能工（職人など）・工場などの現場作業
5. 専門的・技術的な仕事（医師、教師など）	6. 運輸・通信の仕事（ドライバーなど）
7. 保安の仕事（警察官、消防士、警備員など）	8. 管理的な仕事（会社役員、管理職など）
9. 農林漁業の仕事	10. その他（ ）

- (1) -3 問24(1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。お勤めの会社の従業員規模は、どの範囲ですか(自営業を含む)。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の勤務先で就労している場合は、週のうちで最も就労時間が長いもの1つについてお答えください。

1. 1人~4人	2. 5人~9人
3. 10人~29人	4. 30人~99人
5. 100人~299人	6. 300人~999人
7. 1000人以上	8. わからない

- (1) -4 問24(1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場で、仕事と家庭の両立支援制度が利用できない
5. 職場の理解が得られない
6. 子どもの他に面倒をみななければならない人がいる
7. 子どもの面倒をみってくれる保育所などが見つからない
8. 子どもと接する時間が少ない
9. その他()

- (1) -5 問24(1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんの母親の年収について、□内に具体的な数字をご記入ください。(数字は一桁に一字。収入がなかった場合は、「0」万円とご記入ください)

昨年1年間で □ □ □ □ 万円くらい

- (1) -6 問24(1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を□内に具体的な数字でご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字は一桁に一字)

1週あたり □ □ 日 1日あたり □ □ 時間

- (1) -7 問24(1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に具体的な数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(数字は一桁に一字)

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまでに就労したことがない
- 問25へ

(2) -1 問24(2)で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。就労形態は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の勤務先で就労している場合は、週のうちで最も就労時間が長いもの1つについてお答えください。

- | | | | |
|---------|------------|-------------------|--------|
| 1. 自営業主 | 2. 会社などの役員 | 3. 自営業の手伝い、自宅での内職 | |
| 4. 正社員 | 5. 派遣社員 | 6. 契約社員・嘱託 | 7. その他 |

(2) -2 問24(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。どのような職種ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の勤務先で就労している場合は、週のうちで最も就労時間が長いもの1つについてお答えください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 事務の仕事（一般事務員など） | 2. 販売の仕事（小売店主、店員など） |
| 3. サービスの仕事（調理人、美容師、接客など） | 4. 技能工（職人など）・工場などの現場作業 |
| 5. 専門的・技術的な仕事（医師、教師など） | 6. 運輸・通信の仕事（ドライバーなど） |
| 7. 保安の仕事（警察官、消防士、警備員など） | 8. 管理的な仕事（会社役員、管理職など） |
| 9. 農林漁業の仕事 | 10. その他（ ） |

(2) -3 問24(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。お勤めの会社の従業員規模は、どの範囲ですか（自営業を含む）。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の勤務先で就労している場合は、週のうちで最も就労時間が長いもの1つについてお答えください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 1人~4人 | 2. 5人~9人 |
| 3. 10人~29人 | 4. 30人~99人 |
| 5. 100人~299人 | 6. 300人~999人 |
| 7. 1000人以上 | 8. わからない |

(2) -4 問24(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場で、仕事と家庭の両立支援制度が利用できない
5. 職場の理解が得られない
6. 子どもの他に面倒をみななければならない人がいる
7. 子どもの面倒をみってくれる保育所などが見つからない
8. 子どもと接する時間が少ない
9. その他 ()

(2) -5 問24(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんの父親の年収について、口内に具体的な数字をご記入ください。(数字は一桁に一字。収入がなかった場合は、「0」万円をご記入ください)

昨年1年間で 万円くらい

(2) -6 問24(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を口内に具体的な数字でご記入ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字は一桁に一字)

1週あたり 日 1日あたり 時間

(2) -7 問24(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に具体的な数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(数字は一桁に一字)

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

8. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておうかがいします。

問25 あなたは、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

問26 あなた自身は「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」がとれていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

**** 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)とは ****

1人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

1. 調和がとれている
2. どちらかという調和がとれている
3. どちらかという調和がとれていない
4. 調和がとれていない
5. わからない

9. 自由記載欄

問27 あなたが、日ごろ、子育てについて感じていることがあれば、自由にお書きください。

以上で、すべての質問を終了しました。

お忙しいところ、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

